

# 事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度								
事務事業名	税務事務総合調整事業（政策）						事業類型	補助事業	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	かすみがうら市事業費助成型補助金等交付要綱、かすみがうら市補助金等交付規則
			02	02	01	04			
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(5) 行政サービスの向上						市民協働	行政主体	
	2 財政運営						担当課係等	税務課	
②財源の確保						市民税担当			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

## 現状把握の部 (D0)

【目的】 市税について市民の理解を深め、税に関する意識の高揚を図り自主財源を確保する。	【関連事業】 なし
【期待される効果】 (青色申告会) 青色申告を推進し事業経営の合理化が図られる。 (法人会) 法人事業者の経営改善と適正な申告、円滑な納税が図られる。	【対象者】 かすみがうら市青色申告会 土浦法人会千代田地区会
【全体概要】 ・税関係団体への活動助成	【特記事項】 ・青色申告推進対策事業補助金（事業費から他団体からの助成金などを差し引いた額に2分の1を乗じた額に相当する額とし、200千円を限度） ・法人税務適正化推進対策事業補助金（事業費の2分の1に相当する額とし、144千円を限度）
【平成30年度 事業内容】 ・記帳、決算その他税務に係る相談及び指導、青色申告推進対策、税制政策活動に関する事業 ・法人税務に係る相談及び指導、法人税務推進対策、法人税政策活動に関する事業	【令和元年度 事業内容】 ・記帳、決算その他税務に係る相談及び指導、青色申告推進対策、税制政策活動に関する事業 ・法人税務に係る相談及び指導、法人税務推進対策、法人税政策活動に関する事業
【令和2年度 事業内容】 ・記帳、決算その他税務に係る相談及び指導、青色申告推進対策、税制政策活動に関する事業 ・法人税務に係る相談及び指導、法人税務推進対策、法人税政策活動に関する事業	

## ■事業費

		H30年度	R01年度	R02年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	344	344	344
歳入計（千円）		344	344	344
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	19 負担金、補助及び交付金	344	344	344
歳出計（千円）（A）		344	344	344
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 0.00 予 0.00
職員人工数		0.10	0.10	0.10
職員人件費（B）		752	776	781
総事業費（A）＋（B）		1,096	1,120	1,125

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	青色申告制度の啓蒙普及のため研修会・相談会の実施数	回	目標	5.00	5.00	5.00
	所得税青色申告説明会の実施		実績	9.00	7.00	0.00
	法人税等に関する税務研修会の実施数	回	目標	3.00	3.00	3.00
	税務研修会・税制改正説明会の実施		実績	5.00	4.00	0.00
成果 指標	相談件数	人	目標	20.00	20.00	30.00
	青色申告への移行希望者に対する相談件数（青色申告会）		実績	15.00	8.00	0.00
	新規会員（法人）数	社	目標	8.00	8.00	8.00
	新規会員（法人）の加入推進（土浦法人会千代田地区会）		実績	11.00	8.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> （法人）異業種間交流により組織が活性化し新たな経済活動が推進される。 （青色）白色申告から青色申告へ移行することにより、自書申告が増え、市申告相談件数が減少し効率化が図られる。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> （法人・青色）組織が活性化し地域の経済活動や税務行政の理解を向上される。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> （法人）異業種間交流により組織が活性化し新たな経済活動が推進される。 （青色）税務署や市申告相談の際、団体による青色相談窓口を設けているため税知識の向上や青色申告者が増加することが今後見込まれる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> （法人・青色）税知識の普及向上等を市だけで行うことには限界があるため、団体で行うことにより会員等で普及できることが考えられる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> （法人）旧地区毎に団体があり統合の可能性がある。 （青色）平成26年度に旧地区2団体が合併して現団体となっている。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 （仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 成果が達成できなければ、削減の検討も必要である。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 税務署や市申告相談の際に団体による相談窓口を設置しており、税知識の普及向上等は納税者を対象としている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入 目標値が達成できなければ削減の検討を必要とするが、税に関する知識の向上や税について市民の理解を深めるため、また、市の普及活動だけでは足りない部分を補っていただくため、今後にも必要である。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：元木 義和 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） ・税関係団体を通じて、税知識の普及・啓発を図る。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：木村 俊夫 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） ・団体による税知識の普及・啓発活動を支援することで、行政による活動を越えた成果が期待できる。	